## 花まつり御和讃





の





ポイント注意 詠題のピッチから五度下の音で「くぎょうらいはい」の発声となり、「仰げば遠し」から斉唱となります。この曲に限り、詠頭の2小節目で合掌をとき、鈴鉦をかまえる。

## 花 ま つ り 和 讃 平松 大真 作詞

## くぎょうらいはいたんじょうぶつ 恭敬礼拝誕生仏

- 2 七歩あゆみて実地を 指さしながら呱々の苦 たかくも唯我独尊と 四方にひびきしかしこさよ
- 3 昔をしのぶよすがとて 花のかずかずつみあつめ 心をこめてうつくしく ふきたてまつる花御堂
- 4 甘露の雨になぞらえて 甘茶のかおりかんばしく 老も若きもこもごもに そそぎまつるぞありがたき
- 5 仏のおしえつちかいて 心にさきし一輪の 花をもそえてもろともに 祝いまつらん花まつり
- 6 甘茶の杓は小くとも そそげば匂う法の水 清くむすびてとこしえに たたえまつらん花まつり